

(R2)

改 正	現 行	備 考
<p>第 1 章 地質調査積算基準</p> <p>第 1 節 地質調査積算基準</p> <p>1-2 地質調査業務費</p> <p>1-2-2 地質調査業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>1) 純調査費</p> <p>(ロ) 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のイからリに掲げるものとする。</p> <p>ニ) 安全費 安全費は、業務における安全対策に要する費用である。</p>	<p>第 1 章 地質調査積算基準</p> <p>第 1 節 地質調査積算基準</p> <p>1-2 地質調査業務費</p> <p>1-2-2 地質調査業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>1) 純調査費</p> <p>(ロ) 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のイからリに掲げるものとする。</p> <p>ニ) 安全費 現場の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵および保安灯等や環境保全のための仮囲いに要する費用を計上する。</p>	

(R2)

改 正	現 行	備 考															
<p>1-3 地質調査業務費の積算方法</p> <p>別表第1</p> <p>(2) 算定式</p> $Z = A \times Y^b$ <p>ただし、Z：諸経费率（単位：％） Y：対象額（単位：円）（直接調査費＋間接調査費） A、b：変数値</p> <p>(注) 諸経费率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。</p> <p>1-4 安全費の積算</p> <p>安全費とは、当該地質業務を遂行するために安全対策上必要となる経費であり、現場状況により、以下の(1)又は(2)により算定した額とする。なお、安全対策上必要となる経費とは、主に現場の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵および保安灯等や環境保全のための仮囲いに要する費用のことをいう。</p> <p>(1) 交通処理等に係わる安全費を算出する業務は、主として現道上で連続的に行われ、且つ安全対策が必要となる場合を対象とし、当該地域の安全费率を用いて次式により算出する。 (安全費) = (直接調査費) × (安全费率)</p> <p>(注) 1. 上記の直接調査費は、直接経費を含まない費用である。 安全费率は表-1を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-1 安全费率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">地 域</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">大市街地</td> <td style="text-align: center;">市街地甲</td> <td style="text-align: center;">市街地乙 都市近郊</td> <td style="text-align: center;">そ の 他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主として現道上</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">10.0%</td> <td style="text-align: center;">9.5%</td> <td style="text-align: center;">4.5%</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 地域が複数となる場合は、地域毎の区間（距離）を重量とし、加重平均により率を算出する。 2. 地域区分については、第1章 第1節 測量業務積算基準 1-4-2 変化率の積算 2. 地域・地形区分を参考とする。</p> <p>(2) (1)によりがたい場合は、現場状況に応じて積上げ計算により算出する。</p>	地 域					場 所	大市街地	市街地甲	市街地乙 都市近郊	そ の 他	主として現道上	—	10.0%	9.5%	4.5%	<p>1-3 地質調査業務費の積算方法</p> <p>別表第1</p> <p>(2) 算定式</p> $Z = A \times Y^b$ <p>ただし、Z：諸経费率（単位：％） Y：対象額（単位：円）（直接調査費＋間接調査費） A、b：変数値</p> <p>(注) 諸経费率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。</p> <p>(新設)</p>	
地 域																	
場 所	大市街地	市街地甲	市街地乙 都市近郊	そ の 他													
主として現道上	—	10.0%	9.5%	4.5%													

(R2)

改 正	現 行	備 考																																																																																																
<p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）</p> <p>2-3 サウンディング及び原位置試験</p> <p>2-3-1 適用範囲</p> <p>サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲</p> <p>サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> <p>2-3-3 市場単価の設定</p> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.3.1 サウンディング及び原位置試験の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）</td> <td>普通載荷（2.5MN/m²以下） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷（2.5～10MN/m²） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷（10～20MN/m²） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 G L-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 G L-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験</td> <td>20 kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>100 kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	種 別	規 格	単 位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃		軟岩	〃	孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）	普通載荷（2.5MN/m ² 以下） G L-50m以内	〃	中圧載荷（2.5～10MN/m ² ） G L-50m以内	〃	高圧載荷（10～20MN/m ² ） G L-50m以内	〃	現場透水試験	オーガー法 G L-10m以内	〃	ケーシング法 G L-10m以内	〃	一重管式 G L-20m以内	〃	二重管式 G L-20m以内	〃	揚水法 G L-20m以内	〃	スウェーデン式サウンディング	G L-10m以内 N値4以内	m	機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験	20 kN G L-30m以内	〃	100 kN G L-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃	二重管式 G L-5m以内	〃	<p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）</p> <p>2-3 サウンディング及び原位置試験</p> <p>2-3-1 適用範囲</p> <p>サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲</p> <p>サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> <p>2-3-3 市場単価の設定</p> <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.3.1 サウンディング及び原位置試験の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）</td> <td>普通載荷（2.5MN/m²以下） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷（2.5～10MN/m²） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷（10～20MN/m²） G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 G L-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 G L-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 G L-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験</td> <td>20 kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>100 kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p>	種 別	規 格	単 位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃		軟岩	〃	プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）	普通載荷（2.5MN/m ² 以下） G L-50m以内	〃	中圧載荷（2.5～10MN/m ² ） G L-50m以内	〃	高圧載荷（10～20MN/m ² ） G L-50m以内	〃	現場透水試験	オーガー法 G L-10m以内	〃	ケーシング法 G L-10m以内	〃	一重管式 G L-20m以内	〃	二重管式 G L-20m以内	〃	揚水法 G L-20m以内	〃	スウェーデン式サウンディング	G L-10m以内 N値4以内	m	機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験	20 kN G L-30m以内	〃	100 kN G L-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃	二重管式 G L-5m以内	〃	
種 別	規 格	単 位																																																																																																
標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																																
	砂・砂質土	〃																																																																																																
	礫混じり土砂	〃																																																																																																
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																
	軟岩	〃																																																																																																
孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）	普通載荷（2.5MN/m ² 以下） G L-50m以内	〃																																																																																																
	中圧載荷（2.5～10MN/m ² ） G L-50m以内	〃																																																																																																
	高圧載荷（10～20MN/m ² ） G L-50m以内	〃																																																																																																
現場透水試験	オーガー法 G L-10m以内	〃																																																																																																
	ケーシング法 G L-10m以内	〃																																																																																																
	一重管式 G L-20m以内	〃																																																																																																
	二重管式 G L-20m以内	〃																																																																																																
	揚水法 G L-20m以内	〃																																																																																																
スウェーデン式サウンディング	G L-10m以内 N値4以内	m																																																																																																
機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験	20 kN G L-30m以内	〃																																																																																																
	100 kN G L-30m以内	〃																																																																																																
ポータブルコーン貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃																																																																																																
	二重管式 G L-5m以内	〃																																																																																																
種 別	規 格	単 位																																																																																																
標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																																
	砂・砂質土	〃																																																																																																
	礫混じり土砂	〃																																																																																																
	玉石混じり土砂	〃																																																																																																
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																																
	軟岩	〃																																																																																																
プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）	普通載荷（2.5MN/m ² 以下） G L-50m以内	〃																																																																																																
	中圧載荷（2.5～10MN/m ² ） G L-50m以内	〃																																																																																																
	高圧載荷（10～20MN/m ² ） G L-50m以内	〃																																																																																																
現場透水試験	オーガー法 G L-10m以内	〃																																																																																																
	ケーシング法 G L-10m以内	〃																																																																																																
	一重管式 G L-20m以内	〃																																																																																																
	二重管式 G L-20m以内	〃																																																																																																
	揚水法 G L-20m以内	〃																																																																																																
スウェーデン式サウンディング	G L-10m以内 N値4以内	m																																																																																																
機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験	20 kN G L-30m以内	〃																																																																																																
	100 kN G L-30m以内	〃																																																																																																
ポータブルコーン貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃																																																																																																
	二重管式 G L-5m以内	〃																																																																																																

(R2)

改 正	現 行	備 考																																																																																														
<p>2-3-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 2. サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 3. 現場透水試験は、資料整理（内業）を含むものとする。 4. 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。 <p>2-3-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.3.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験</td> <td>200kN GL-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p> <p>2-4 現場内小運搬 2-4-3 市場単価の設定 4. 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費=設計単価×運搬総重量 設計単価=標準の市場単価 (換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費=設計単価(運搬)×運搬総重量+設計単価(架設・撤去) +設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価=標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数=架設日数+調査・試験等作業日数+撤去日数 ※供用日数の算定にあたっては、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p>	種 別 ・ 規 格	単位	日当たり作業量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	軟岩	〃 7.0	孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0	機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験	200kN GL-30m以内	〃 12.0	100kN GL-30m以内	〃 11.0	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0	<p>2-3-4 適用に当たっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 2. サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 3. 現場透水試験は、資料整理（内業）を含むものとする。 4. 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。 <p>2-3-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.3.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m²以下) GL-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m²) GL-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験</td> <td>200kN GL-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN GL-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポータブルコーン貫入試験</td> <td>単管式 GL-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p> <p>2-4 現場内小運搬 2-4-3 市場単価の設定 4. 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費=設計単価×運搬総重量 設計単価=標準の市場単価 (換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費=設計単価(運搬)×運搬総重量+設計単価(架設・撤去) +設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価=標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数=架設日数+調査・試験等作業日数+撤去日数 ※架設日数は、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p>	種 別 ・ 規 格	単位	日当たり作業量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	軟岩	〃 7.0	プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0	現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0	スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0	機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験	200kN GL-30m以内	〃 12.0	100kN GL-30m以内	〃 11.0	ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0	
種 別 ・ 規 格	単位	日当たり作業量																																																																																														
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																														
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																														
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																														
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																														
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																														
	軟岩	〃 7.0																																																																																														
孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0																																																																																														
	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																														
	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																														
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																														
機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験	200kN GL-30m以内	〃 12.0																																																																																														
	100kN GL-30m以内	〃 11.0																																																																																														
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0																																																																																														
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0																																																																																														
種 別 ・ 規 格	単位	日当たり作業量																																																																																														
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																														
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																														
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																														
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																														
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																														
	軟岩	〃 7.0																																																																																														
プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)	普通載荷 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内	〃 3.0																																																																																														
	中圧載荷 (2.5~10MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																														
	高圧載荷 (10~20MN/m ²) GL-50m以内	〃 2.0																																																																																														
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0																																																																																														
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0																																																																																														
スウェーデン式サウンディング	GL-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																														
機械式コーン (ワング式二重管コーン) 貫入試験	200kN GL-30m以内	〃 12.0																																																																																														
	100kN GL-30m以内	〃 11.0																																																																																														
ポータブルコーン貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0																																																																																														
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0																																																																																														

(R2)

改 正	現 行	備 考																								
<p>2-6 その他間接調査費</p> <p>2-6-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.6.3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td>業務</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>m</td> <td>166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-7 解析等調査業務</p> <p>2-7-2 単価の設定</p> <p>1. 単価の構成と範囲</p> <p>1-4. 総合解析とりまとめ</p> <p>(1)業務の範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合)。 ⑦ 報告書の執筆 <p>ただし、次のような業務は含まない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2)高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 3)地質図の作成(別途、地質、地表踏査が必要なもの) <p>(2)試験種目数別の補正</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備及び跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	2.0	<p>2-6 その他間接調査費</p> <p>2-6-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.6.3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備跡片付け</td> <td>業務</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>m</td> <td>166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-7 解析等調査業務</p> <p>2-7-2 単価の設定</p> <p>1. 単価の構成と範囲</p> <p>1-4. 総合解析とりまとめ</p> <p>(1)業務の範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合)。 ⑦ 報告書の執筆 <p>ただし、次のような業務は含まない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2)高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 <p>(追加)</p> <p>(2)試験種目数別の補正</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	2.0	
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																								
準備及び跡片付け	業務	1.0																								
搬入路伐採等	m	166.0																								
環境保全	仮囲い	2.0																								
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																								
準備跡片付け	業務	1.0																								
搬入路伐採等	m	166.0																								
環境保全	仮囲い	2.0																								

(R2)

改 正	現 行	備 考																																						
<p>第3節 弾性波探査業務</p> <p>3-4 解析等調査業務費及び直接調査費</p> <p>3-4-1 発破法及びスタッキング法標準歩掛（受振点間隔5m）</p> <p style="text-align: center;">直接調査費 (1km当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>3.9</td> <td>4.1</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>4.8</td> <td>6.2</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8.7</td> <td>10.3</td> <td>28.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 受振点間隔が5m以外の場合は、別途計上する。 3. 解析等調査業務費における直接人件費は、その他原価の対象とする。また、直接調査費における直接人件費は、施工管理費の対象とする。 4. 測線延長1km以外の場合は、次式により補正係数を求め標準歩掛（解析等調査業務費：計画準備～報告書とりまとめ、及び直接調査費：測線設定～観測）に乗ずるものとする。 調査箇所が同一の場合は測線長を合計した測線延長、調査箇所が離れており移動に時間を要する場合は測線延長毎に補正係数を算出するものとする。 なお、測線延長は小数第2位（小数第3位を四捨五入）までを代入し、補正係数は小数第2位（小数第3位を四捨五入）まで算出するものとする。 補正式 $y = 0.492x + 0.508$ y：補正係数 x：測線延長（km）</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	測 線 設 定	3.9	4.1	12.5	観 測	4.8	6.2	15.6	合 計	8.7	10.3	28.1	<p>第3節 弾性波探査業務</p> <p>3-4 解析等調査業務費及び直接調査費</p> <p>3-4-1 発破法及びスタッキング法標準歩掛（受振点間隔5m）</p> <p style="text-align: center;">直接調査費 (1km当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>3.9</td> <td>4.1</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>4.8</td> <td>6.2</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8.7</td> <td>10.3</td> <td>28.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 受振点間隔が5m以外の場合は、別途計上する。 3. 解析等調査業務費における直接人件費は、その他原価の対象とする。また、直接調査費における直接人件費は、施工管理費の対象とする。 4. 測線延長1km以外の場合は、次式により補正係数を求め標準歩掛（解析等調査業務費：計画準備～報告書とりまとめ、及び直接調査費：測線設定～観測）に乗ずるものとする。 (追加) なお、測線延長は小数第2位（小数第3位を四捨五入）までを代入し、補正係数は小数第2位（小数第3位を四捨五入）まで算出するものとする。 補正式 $y = 0.492x + 0.508$ y：補正係数 x：測線延長（km）</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	測 線 設 定	3.9	4.1	12.5	観 測	4.8	6.2	15.6	合 計	8.7	10.3	28.1	
職 種 区 分		直接人件費																																						
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																					
測 線 設 定	3.9	4.1	12.5																																					
観 測	4.8	6.2	15.6																																					
合 計	8.7	10.3	28.1																																					
職 種 区 分	直接人件費																																							
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																					
測 線 設 定	3.9	4.1	12.5																																					
観 測	4.8	6.2	15.6																																					
合 計	8.7	10.3	28.1																																					

(R2)

改 正	現 行	備 考																																												
<p>3-5 間接調査費 3-5-1 準備費</p> <p style="text-align: center;">発 破 法 (1 km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">6.2</td> <td style="text-align: center;">7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、火工所設置撤去、火薬作業申請手続き、地権者交渉、発破孔埋戻しを含んでいる。 2. 測線延長が1 km 以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 調査箇所が同一の場合は測線長を合計した測線延長、調査箇所が離れており移動に時間を要する場合は測線延長毎に補正係数を算出するものとする。 なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入する。 補正式 $y = 0.489x + 0.511$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p style="text-align: center;">スタッキング法 (1 km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> <td style="text-align: center;">3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、地権者交渉を含んでいる。 2. 測線延長が1 km 以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 調査箇所が同一の場合は測線長を合計した測線延長、調査箇所が離れており移動に時間を要する場合は測線延長毎に補正係数を算出するものとする。 なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入する。 補正式 $y = 0.674x + 0.326$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6	<p>3-5 間接調査費 3-5-1 準備費</p> <p style="text-align: center;">発 破 法 (1 km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">6.2</td> <td style="text-align: center;">7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、火工所設置撤去、火薬作業申請手続き、地権者交渉、発破孔埋戻しを含んでいる。 2. 測線延長が1 km 以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 (追加) なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入する。 補正式 $y = 0.489x + 0.511$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p> <p style="text-align: center;">スタッキング法 (1 km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="3">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>地 質 調査技師</th> <th>主任地質 調査員</th> <th>地 質 調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場準備及び後片づけ</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> <td style="text-align: center;">3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場準備及び後片づけには、地権者交渉を含んでいる。 2. 測線延長が1 km 以外の場合は、次式より補正係数を求め標準歩掛に乗ずるものとする。 (追加) なお、測線延長は小数第2位(小数第3位を四捨五入)までを代入する。 補正式 $y = 0.674x + 0.326$ y : 補正係数 x : 測線延長 (km)</p>	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3	職 種 区 分	直接人件費			地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員	現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6	
職 種 区 分		直接人件費																																												
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																											
現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3																																											
職 種 区 分	直接人件費																																													
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																											
現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6																																											
職 種 区 分	直接人件費																																													
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																											
現場準備及び後片づけ	3.2	6.2	7.3																																											
職 種 区 分	直接人件費																																													
	地 質 調査技師	主任地質 調査員	地 質 調査員																																											
現場準備及び後片づけ	1.7	2.8	3.6																																											